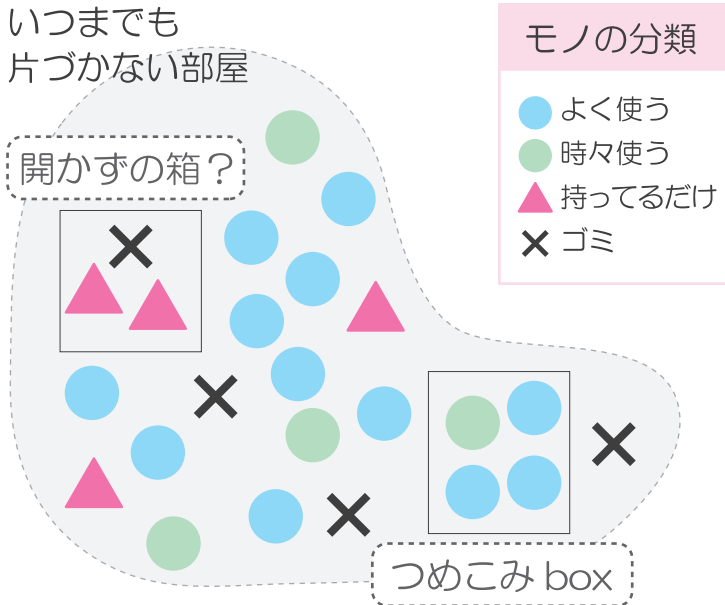


整理整頓

モノに対する勝手な思い込みを捨て、技術を身につける
片づけの方法とコツ

片づけができないのは、技術が身につけていないだけ。モノに対する勝手な思い込み「もったいない」「お買い得」「捨て方がわからない」「流行・所有欲」「小さいものだから取っておく」「まだ壊れていないし」「迷信」などを捨て、モノと人の関係をきちんと見直す。必要なモノだけを残し、モノの定位置を決めることにより、探し物や片づけの時間を減らそう！

いつまでも
片づかない部屋



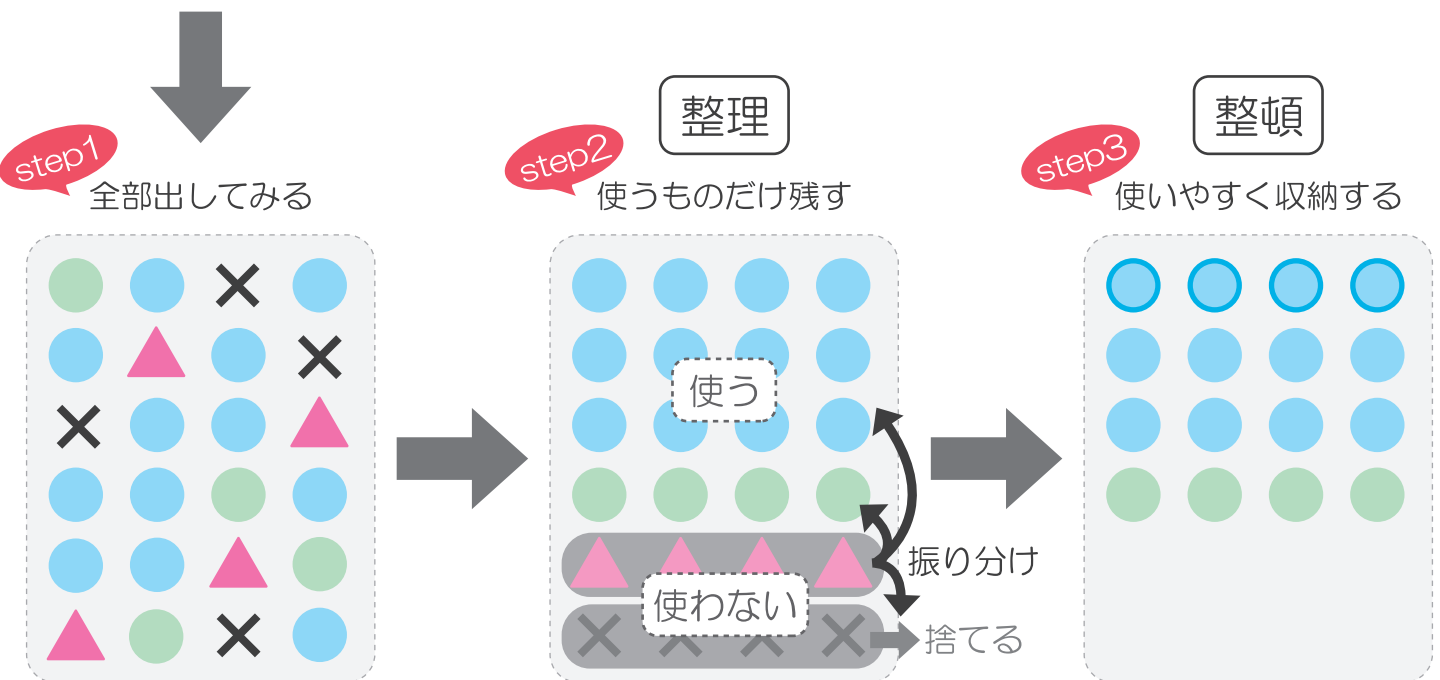
※上と下のモノの数は、同じです。

「片づけ=しまいこむ」と勘違いしない

整理整頓が苦手な人の家に必ず存在する「開かずの箱」。何が入っているのかわからないけれど、もう何年も開けていない。この中には、きちんとした場所に収納すれば使えるものも入っている。そして、リビングに存在する、「つめこみ box」。見た目をきれいにするために、散らかっているものを、何でも詰め込む。

そういう一時しのぎの片づけを続けると、「開かずの箱」がスペースを取り続け、探し物を見つけるために「つめこみ box」をひっくり返すという行動に出る。結果、部屋は混沌を極めつづけてしまう。

この繰り返しから抜け出すには、「片づけ=必要なモノを使いやすい状態にする」ことが必要。子どもでもできる3stepで、気持ちの良い生活環境を手に入れよう！！



この「▲ = 持っているだけ」（実際は忘れられているモノ）を、使う頻度によって取り出しやすい場所に移動させる or 処分する活動こそが、整理整頓の要。

スペースに余裕が生まれて快適生活

